

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0511
施設名	松葉保育園
施設所在地	稲城市矢野口2065
法人名	社会福祉法人東保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ひかりはどこにあるのかな？
(ひかりあそび)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
水遊びのタライに反射した光が、天井で動くことを発見した子ども達。子ども達に「あれは何だろうね？」と問うと発想豊かな答えが返ってきた。光の様子をオノマトペで表現したり、カメや月をイメージしたりする子もいた。子ども達には太陽の光がタライの水に反射して天井に光が映っていることを話すと、不思議そうに太陽を見上げる子もいた。そこからひかりあそびをテーマとすることにした。

2. 活動スケジュール

5月頃から水遊び
6月頃水に反射する光への興味からの遊び
8月は氷遊び
9・10月はセロファンや光のテーブルを用いた、色々な光遊び

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
セロファン、鏡、ひかりのテーブル、氷、食紅、色水など

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

6月の水遊びから始まった活動は、その後色のついた氷を透かしたりして光を感じる遊びへと広がっていった。セロファンで作った虫眼鏡を通した光の変化を感じたり、園庭でセロファンを重ねた光が地面に写って、色が変わることを不思議がったりしていた。その後、光を反射する紙を使って、にじいろのさかなの制作や、10月11日には、ひかりのテーブルを使って、水や葉っぱを通した光遊びをおこなっていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

天井に映っていた光と同じように自分達もキラキラの光を作れるのかな？

水遊びと並行してカラーセロハンのステンドグラスを用意し遊んでみた。子ども達自身が色々試しながら光を探して楽しむ姿があった。ステンドグラスで遊んでいるとテーブルに青の光を発見。保育士が手をつかまえようとするカラフル虫眼鏡を動かして逃げ、光と影のおいかけっこにも発展した。子ども達同士で色の変化に気付き、カラフル虫眼鏡を重ねてみると黄×青＝「みどりになったー！」赤×緑＝「ぴんく？ちゃいろかな？」などの会話が聞



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもが不思議に思うことは、大人になると見逃しがちだが、今回の取り組みを経て、改めて子どもが感じることに目を向けることの大切さを学んだ。必要な環境を整えることで、子ども達自身が光や色に興味を持ち、色や形等の変化に気付くことができている、好奇心や探究心を持ちながら光遊びを進めることができたと思う。子どもの興味の連続性は大事な部分であると感じた。